



2024年11月8日

各 位

上場会社名 瀧上工業株式会社  
代表者 代表取締役社長 瀧上晶義  
(コード番号 5918)  
問合せ先責任者 執行役員管理本部長 香村哲也  
(TEL 0569-89-2101)

## 2025年3月期第2四半期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月15日に公表した2025年3月期第2四半期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,300	250	500	350	159.27
今回修正予想(B)	10,869	△320	13	△0	△0.30
増減額(B-A)	△2,430	△570	△486	△350	
増減率(%)	△18.3	—	△97.2	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	10,781	340	622	449	204.94

### 修正の理由

2025年3月期第2四半期の連結業績につきまして以下の要因により業績予想を修正する見込みであります。  
売上高は、鋼構造物製造事業におきまして、当社における期初時点の大型橋梁案件の上半期進捗見込みが、全般的に下期以降へ繰り下がる結果となり、売上高が大きく減少する見込みとなりました。また、その他のセグメントにおきましては、若干の増減はありましたが、総じて、鋼構造物製造事業の売上高の減少見込みが主な減少要因となるため、売上高は前回発表予想を下回る見込みであります。  
損益面では、橋梁工事は上記の売上高の減少要因に加えて、材料費や人件費上昇による製作費や現場工事費の増加などにより、前期と比べ個別損益は悪化傾向に転じました。また、鉄骨工事では、首都圏の大型高層ビル案件において、採算悪化の見通しから工事損失引当金を計上することとなったことから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は前回発表予想を下回る見込みであります。

以 上